

施策評価シート

評価年度	平成24年度	事業実施年度	平成23年度	施策主管次長名	環境経済部次長 林 茂実
施策番号	64	施策名	環境と調和した活気あふれる工業が盛んなまち		
関係課名	産業課				

1. 施策の概要

施策の目的	対象	事業者(工業者)	対象指標名		単位	H22実績	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
			事業所数	人	533	533	535	538	541	544	
			従業員数	人	18,456	18,455	18,500	18,580	18,660	18,740	
			工業者の商工会員数	人	294	296	300	305	310	315	
意図	中小企業(工業者)の活性化を図る				成果指標名	工業者の商工会加入率					
						工業者の小規模企業等振興資金利用件数					
						1人当たり製造品出荷額					

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	工業者の商工会加入率	%	55.2	56.0	55.5	56.1	56.7	57.3	57.9
	指標設定の考え方と把握方法 工業者の組織化、活性度合いを把握するため(商工会資料)								
指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	工業者の小規模企業等振興資金利用件数	件	22	20	36	35	35	35	35
	指標設定の考え方と把握方法 工業者の経営、資金繰り状況を把握するため(産業課資料)								
指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
	1人当たり製造品出荷額	件	1,638	1,572		1,620	1,640	1,660	1,680
	指標設定の考え方と把握方法 市民1人当たりの出荷額で工業者の活動状況を把握するため(工業統計調査結果、市民課発表人口)								

3. 施策の評価

項目		評価のコメント				
施策の効果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	市民(工業者)は、自らの企業活動を活性化し、環境保全に努める。				
	行政	企業活動の支援、雇用対策の充実に努める。				
達成度評価	成果目標(指標計画値)と現状との比較	・指標 は、計画値56.0%に対し、55.5%とわずかに下回った。指標 は、計画値15件に対し、36件と上回った。指標 の製品出荷額については、H22年データを元としているが計画値を上回っている。				
	近隣との比較	・指標 については、豊田市79.2%、刈谷市76.4%、日進市、73.7%、豊明市61.7%、東郷町66.1%など本市は低い加入率となっている。指標 は製造品出荷額(H22.12.31)と23年度末人口から算出した額で、豊田市2,513万円、刈谷市1,057万円、日進市121万円、豊明市222万円、東郷町310万円に比べ、本市は、豊田市に次いで高い数値になっている。				
	過去3年間の実績との比較	・指標 は平成20年、57.7%、平成21年、55.8%、平成22年、55.2%に比較し、横ばいの状況である。指標 は平成20年、35件、平成21年、39件、平成22年、22件に比べ36件と再び増加した。指標 は、やや減少傾向にある。				
【優先度評価】 成果向上の余地、市長マニフェストとの結びつき、緊急度など	・黒笹、辰己山、根浦土地区画整理地内の企業誘致は、ほぼ終了した。今後は、産業構造の多角化をめざし、付加価値の高い先端産業や新規成長産業、ベンチャー起業家を支援していく必要がある。					
【総合評価】 今後の方向性、課題解決のための事務事業の見直しなど	・企業誘致を継続的に推進し、産業構造の多角化を図るとともに、既存の工業団地等の事業所の転出動向を注視し、進出希望のある企業等への情報提供に努める。 中小企業者の運転資金・設備資金等の資金繰りへの支援に努める。					
市民意識	重要度	低い	満足度	高い	平成23年度市民アンケート調査による	